

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

錦川流域住宅

グループの名称

いわくに住宅協議会

直近採択グループ番号

06-0651-

(グループ代表者)

代表者名

松本 英典

代表者印

代表者所属先

株式会社 大住産業

代表者所在地

山口県岩国市山手町2丁目17-10

代表者電話番号

0827-22-1381

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 大住産業

事務局担当者名

松本 英典

印

事務局郵便番号

740-0022

事務局所在地

山口県岩国市山手町2丁目17-10

事務局電話番号

0827-22-1381

事務局FAX

0827-22-1383

事務局担当者E-mail

hideyan1011@gmail.com

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	棟	/			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟	㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	結成当初と同じように、配分棟数を参加工務店に均等に考えている。が、2年やってみて検討工務店が少ないこともあり、希望順に配分するものとする。							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
	採択戸数	戸	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型								
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	戸		
採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	㎡		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 錦川流域住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山口県・広島県・山口県東部周辺
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) いわくに住宅協議会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	豊かな自然に囲まれた錦川流域地区。 2. 020年の次世代省エネ基準を標準性能とした、地場環境にふさわしい住宅を目指す。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	極力構造材は国産材を主とすることを旨とする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	周辺の既存建物、景観との調和を大切に住宅設計とする。	◎
④①～③の背景	西日本屈指の錦川と温暖な気候の地区でもある。 供給対象地域は自然災害の少ない地域で、油断していると思われる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	④でも記述したが、災害に対して無警戒なところがあると思われるので、耐力面材を用いた仕様とし1次災害は確実に回避できる住宅仕様としたい。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 外周部分の2F床桁は6寸以上、小屋桁は5寸以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材は部材ごとに統一し、流通経路を明確化する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 加工量の多い通し柱は3.5寸、4寸に関わらず桧を使用するものとする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工工務店さまに対しては、グループで使用する建材等の共通リストを作成し、この事業に対する共通意識を持つ。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 各構成員に対して共通の仕様ルールを配り、合理化を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と各構成員による仕様建材の選定会議を年数回、必要に応じて開催する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 検討委員会で決定した建材に対しての仕様書の作成や会報等の発行を行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の標準仕様に対してのチェックリストを作成する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の標準仕様に対してのチェックリストを作成。長期優良、低炭素、ゼロエネ住宅等は、ジャパン建材のJKサポートセンターにてチェックを行うものとする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 昨今、為替の影響が如実に表れており、見積もり期間の設定が難しくはあるが、基本見積もりの有効期限は3ヶ月とする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 補助金を希望されるお施主様には、事業の内容を十分理解されたうえで施工する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: それぞれの工務店さんで加入することとする。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 毎年の健康診断の実施。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 錦川流域住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山口県・広島県・山口県東部周辺	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いわくに住宅協議会	(結成年) 2016 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適充実の家』の住宅履歴の図書館(顧客情報管理)を活用する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適充実の家』の住宅履歴の図書館を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適充実の家』の住宅履歴の図書館の登録証明書を活用する。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適充実の家』の住宅履歴の図書館(定期点検)を活用する。	○
		②-2 補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年数回、JKサポートセンターによる勉強会を開催する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡しや引っ越し時に、点検・手入れ方法の仕方など説明する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員より依頼があれば事務局でまとめ、相談会等を活用する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適充実の家』の住宅履歴の図書館(定期点検)を活用する。		○	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一構成員の倒産、廃業が発生した場合、グループ内で対応を検討する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の事例を参考に勉強会等を開催する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループの構成員は、この事業の補助金を申請する際はジャパン建材の『快適充実の家』に入会していただき、申請サポート、住宅履歴の図書館(顧客情報管理・定期点検)を活用して、グループ内での統一意識を目指す。		◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数		
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員の新入社員等がいれば、事務局より積極的に参加を促す。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2.030年のZEH標準化に向けて勉強会等を開催する。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 錦川流域住宅	(地域型住宅供給対象地域) 山口県・広島県・山口県東部周辺												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いわくに住宅協議会	(結成年) 2016年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄														
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・通し柱、土台は基本検とする。 ・杉は主に柱に使用し、梁、桁にも使用する。 ・米松は主に主要構造材に使用する。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で情報を収集し随時提供する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主導で行い、情報を提供する。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 安定供給できる見通し。												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄														
	東日本大震災の復興に資する取組	特になし												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 錦川流域住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 山口県・広島県・山口県東部周辺
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> いわくに住宅協議会	<small>(結成年)</small> 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0651-	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
仕様に関しては前年度を引き継ぐものとする。 前年度は採択されたにもかかわらず、採択戸数を全く使うことができずに残念でした。 前年度に目標として挙げていた次世代基準の断熱材仕様は、かなり浸透してきたような気がします。 今年度は現時点でゼロエネ住宅の応募を希望されているので、なんとか採択していただきたい。採択されれば設定数値のギリギリではなく、余裕をもってクリアできるようと考えています。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。